

## 編集後記

お忙しい中、快くご執筆下さった先生方、職員の皆様、学生の皆さんに深く御礼申し上げます。また、編集長の齊藤先生をはじめ編集委員の先生方、前編集委員の重谷先生のお力により、初めての編集委員を何とか務めることが出来ました。心より感謝申し上げます。編集委員という特権を生かして、お話を伺ってみたい先生方に原稿を依頼し、原稿を真っ先に楽しく拝読し、原稿から伝わる熱意に力をいただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。携わった全ての方々の心がこもった本号をたくさんの皆様にお読みいただければ幸いです。

歯科矯正学分野 越知佳奈子

今回、「クラブ紹介」「海外大学訪問」「診療技術支援部歯科衛生部門だより」「歯学部運動会を終えて」の項目を担当させて頂きました。原稿を依頼した皆様、突然のメールでのお願いにも関わらず嫌がらずに引き受けて下さり、本当にありがとうございました。皆様のお力を借りて、無事に発行する事が出来ました。この歯学部ニュースが、皆様の交流の場、情報源となりましたら幸いです。

顎顔面口腔外科学分野 小山 貴寛

今回、初めて歯学部ニュース編集委員を担当させていただきました。突然の執筆依頼にも関わらず快く引き受けてくださった皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。また、学生の皆さんには入稿締切が夏季休暇直前となり、しかも依頼から入稿までが短期間と、時間的な制約があるなかで協力いただき本当にありがとうございました。

小児歯科学分野 坂井 幸子

早いもので新潟に来てから丸5年が経過しました。所属分野内だけでなく学部の仕事も少しずつ担当させていただけるようになり、今回、初めて歯学部ニュースの編集委員となりました。学生や教職員などの学内関係者に加え、保護者の方にも興味を持っていただけるよう、齊藤編集委員長をはじめとする編集委員の先生方と協力して完成させましたので、少しでも楽しんでいただければ幸いです。また、突然のお願いにもかかわらず、執筆をお引き受けくださいました先生方、関係者の皆様に感謝いたします。この場を借りて、御礼申し上げます。

摂食嚥下リハビリテーション学分野 辻村 恭憲

今号においては、歯学部の学生さんや職員の60名あまりが原稿執筆に関わっており、年2号の発行を考慮すると歯学部という小さい枠組みでは、かなりの頻度で関係者へ執筆が依頼されているものと思われます。執筆担当者には大変なご苦勞をおかけしておりますが、活気ある生の声を読者へお届けできることから、楽しみにしている方も多いと聞いております。また、新潟大学歯学部では、海外短期留学や海外大学訪問などイベントやサポートが充実していますが、これは他大学にはない本学の強みでもあります。今後も歯学部ニュースにて楽しい報告ができるよう、学生さんや若手ドクターが多くの経験を積んでいかれることを切に願います。最後になりますが、4名の編集委員の先生方と原稿を執筆いただいた皆様、そして貴重な写真をご提供いただきました林孝文教授に深謝いたします。

小児歯科学分野 齊藤 一誠